

Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォーム電話機でのコールウェイティングの有効化

目的

Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォーム電話機でコールウェイティングを有効にすると、使用中の電話機でも着信コールを通過できます。この機能を有効にすると、発信者は回線の相手側の呼出音を聞くことができ、ビジートーンを聞かずにコールに応答するのを待つことができます。

アクティブなコール中は、1回のビープ音で待機コールが示され、セッションボタンが赤色に点滅します。

この記事では、Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォームで、Webベースのユーティリティと電話GUIを使用してコールウェイティングを有効にする方法を説明します。

該当するデバイス

- 8800 シリーズ

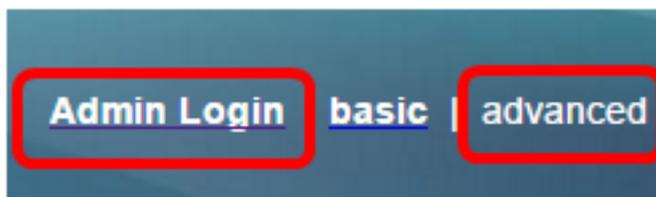
[Software Version]

- 11.0.1

コールウェイティングの有効化

Webベースのユーティリティを使用

ステップ1:IP PhoneのWebベースのユーティリティにログインし、[Admin Login] > [advanced]をクリックします。



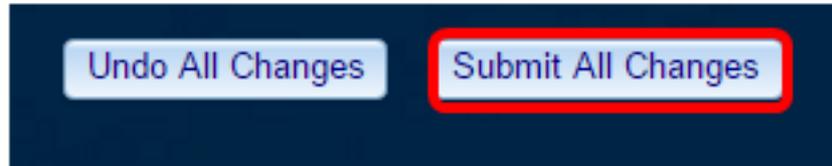
ステップ2:[Voice] > [User]をクリックします。



ステップ3:[Supplementary Services]で、[CW Setting]のドロップダウンメニューをクリックし、[Yes]を選択します。

Supplementary Services	
CW Setting:	Yes
Block ANC Setting:	Yes
Secure Call Setting:	No

ステップ4:[Submit All Changes]をクリックします。



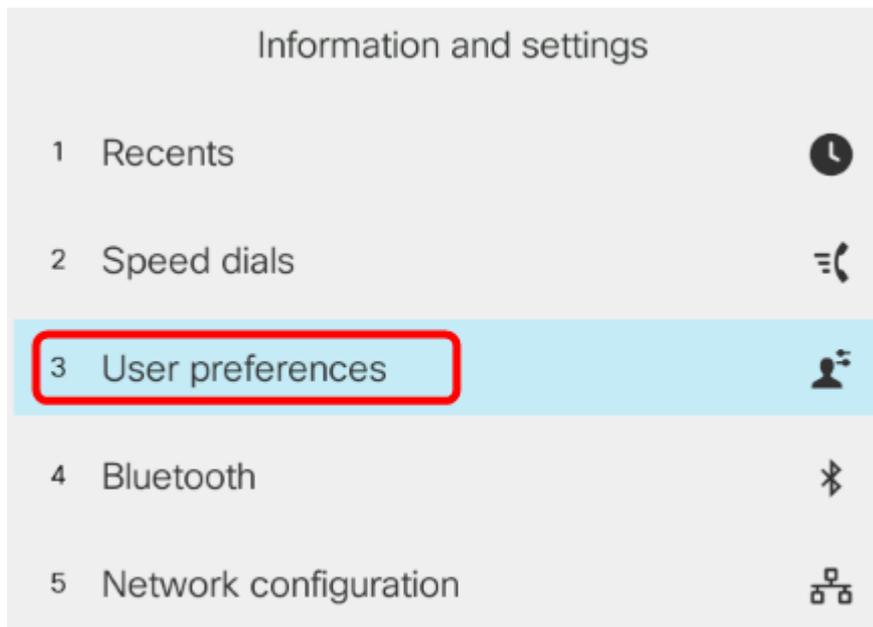
これで、Webベースのユーティリティを使用して、電話機でコールウェイティングを有効にしたことになります。

電話機のGUIを使用する

ステップ1:IP Phoneのアプリケーション・ ボタンを押す。

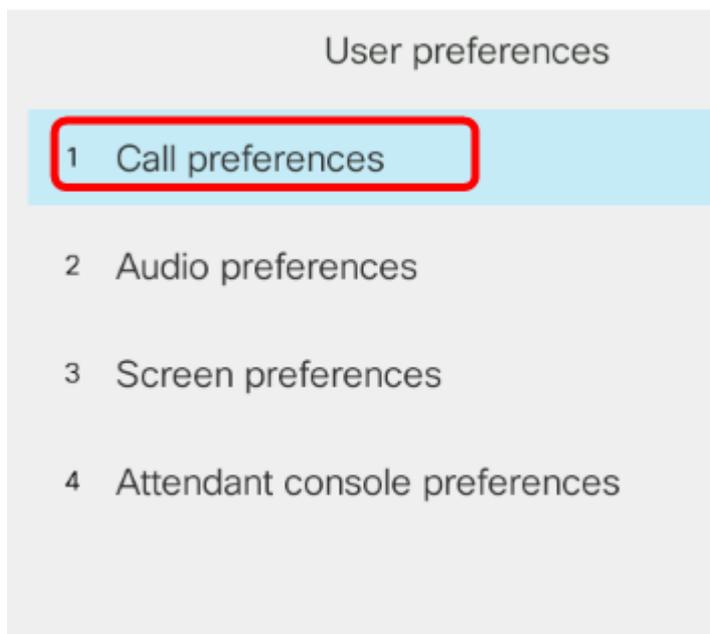


ステップ2 : ナビゲーションクラスタボタンを使用し  て、[ユーザ設定]に移動し、[選択]ソフトキーを押します。



Select

ステップ3:[Call preferences]を選択し、[Select]ソフトキーを押します。



Select

ステップ4:[Call waiting]に移動し、ナビゲーションクラスターの右ボタンを押してオンに設定します。



Call preferences	
Call waiting	On
Secure call	Off
Dial assistance	On
Auto answer page	On
Missed call shortcut	Off

ステップ5:[設定]ソフトキーを押します。

Call preferences	
Call waiting	On
Secure call	Off
Dial assistance	On
Auto answer page	On
Missed call shortcut	Off

Set

これで、GUIを使用して電話機のコールウェイトイングが有効になったはずです。